

令和2年度 第1回苫小牧市子ども・子育て審議会

部会設置にかかる委員からの意見

機 関	氏 名	意 見
苫小牧駒澤大学	永石 啓高	同意します。 児童虐待防止法による保護者への規制(勿論、必要な処罰的対応はすべきであるが)よりも、心理的虐待、ネグレクトの多さを鑑みると、子供の親としての自覚を促すような施策を検討する必要があるように思われます。
北海道私立幼稚園協会 苫小牧・日高支部	青山 邦子	同意します。
苫小牧市法人保育園 協議会	遠藤 明代	同意します。 この部会の設置が児童虐待防止の機能を果たすきっかけになるのを期待するところです。現在の要保護児童対策地域協議会も組織の構成メンバーの職域は広範囲ですが、虐待防止の為の啓発周知にとどまっている感もあり、この部会設置でさらに深めて速やかな対応と関係機関との情報共有のあり方など細部にわたり、検討提言できるような部会になって欲しいと思います。
苫小牧市子ども会育成 連絡協議会	佐藤 守	同意します。
苫小牧市PTA連合会	大澤 智恵美	同意します。
苫小牧市小学校長会	毛利 毅	同意します。
苫小牧市医師会	小原 敏生	同意します。 多方面からの専門委員で構成され、より良い条例の草案を期待しています。
苫小牧市民生委員児 童委員協議会	山岸 陽子	同意します。
苫小牧市婦人団体連 絡協議会	北岸 由利子	同意します。
苫小牧市ファミリー・サ ポート・センター	篠田 利恵	同意します。
苫小牧商工会議所	末松 仁	同意します。 ・部会メンバーは広く意見を求めるのは良い。かつ、できるだけ厳選してもらいたい。ネット情報の聞きかじりなど、議論が深まらない。 ・子供、保護者、市民、行政等関係者の義務を明確に ・基本理念とともに基本計画、実施計画に期間、目標など明確に規定 ・予防、発見、対応などの規定とともに援助、支援、育成、自立に向けた未来が見えるように ・当事者ととともに行政や相談所の役割や関係性を明確に ・子どもに対するケア(各種診断から快癒)のロードマップ ・行き過ぎる監視に対する防止策
連合北海道苫小牧地 区連合	山上 晃	同意します。 子どもたちは幼児期、小学生の時期、中学生の時期、高校生の時期とそれぞれの成長期に合わせて親や兄弟姉妹との思いやりと愛情を受ける事が大切だと思います。 現在、社会では親が心の余裕を持って接する事の難しい環境が働き方の中で課題として出てきていると思います。 私たち労働組合もワークライフバランスと称し、いろいろな取り組みを展開してきて、企業の協力をいただき一部改善はされているものの中小企業で働く皆さんにとっては共稼ぎをしなければ生計の維持が難しい実態もあり、労働相談をお受けする機会が少なくありません。それぞれのお立場の皆さんとせめて苫小牧市における対策を相談していきたく思います。よろしく願いいたします。
苫小牧青年会議所	佐々木 隆幸	同意します。
公募委員	藤崎 詠子	同意します。